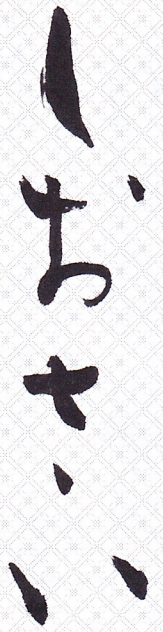


第7回 区民文化祭 区民の作品展 開催

金沢区文化協会主催



金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 岩瀬 昭二
広報部長

☎ 701-0795

発行人 森下 春陵
会長

☎ 783-1025

第七回金沢区民文化祭は、平成七年十月八日より十一月十二日迄金沢公会堂と金沢地区センターを中心に行われました。地区センターでも例年どおり「区民の作品展」が十月二十五日から二十九日迄書道・絵画・写真・

手工芸を中心に行われました。今までは区民文化祭実行委員会の主催でしたが、今年から区民の作品展だけは金沢区文化協会の主催ということになりました。文化協会は平成七年三月に結成されたばかりでその発足をアピールするため文化協会発足特別展示コーナーを設けることにしました。設立総会の写真・文化協会発足を祝う歌・安藤広重の版画「武陽金沢八勝夜景」三枚組・金沢書道協会寄せ書「金沢八景」・文化協会会報第一号・設立総会の新聞記事等です。

そのほか新しく文芸部門として短歌・俳句・川柳・詩などの発表、更に歴史部門として金沢にゆかりの畠山重忠公を金沢郷土史研究会がテーマとしてその資料の展示もありました。次にはじめての企画として会場正面に畳一枚近い用紙に一文

字という大きな「金沢区民文化祭作品展」の看板が掲げられました。地区センター館長のおすすめで奥田事務局長が金沢書道協会会長星翠雲先生に書いていただきました。出品は書道九五・写真七一・絵画五二・文芸四三・海外研修生の書道三〇の多岐にわたり、七年の実績がその点数に現れております。出品者のお名前を見ると毎年お馴染みの方が見受けられます。

手工芸部門は十六団体で二五〇名という大勢のお力で、平面的な展示に、立体的な表現でバラエティに富んだ空間の演出がなされました。

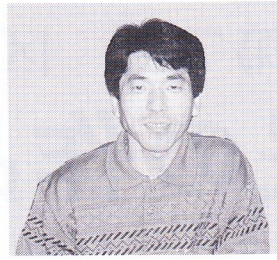
会期中参観者の質問に受付が困惑することがあったとのこと。これは毎年会期中は手工芸の方が交替で受付や案内を担当していますが、専門外の問合せも多いようです。作品展が文化協会の主催となったことでもあり、出品部門理事が当番で常駐すること、各部門の連絡先の掲示など対策が必要と思われれます。

次にはじめての企画として会場正面に畳一枚近い用紙に一文字という大きな「金沢区民文化祭作品展」の看板が掲げられました。地区センター館長のおすすめで奥田事務局長が金沢書道協会会長星翠雲先生に書いていただきました。

出品は書道九五・写真七一・絵画五二・文芸四三・海外研修生の書道三〇の多岐にわたり、七年の実績がその点数に現れております。出品者のお名前を見ると毎年お馴染みの方が見受けられます。手工芸部門は十六団体で二五〇名という大勢のお力で、平面的な展示に、立体的な表現でバラエティに富んだ空間の演出がなされました。会期中参観者の質問に受付が困惑することがあったとのこと。これは毎年会期中は手工芸の方が交替で受付や案内を担当していますが、専門外の問合せも多いようです。作品展が文化協会の主催となったことでもあり、出品部門理事が当番で常駐すること、各部門の連絡先の掲示など対策が必要と思われれます。

文化ホール建設をめざして

長谷川 克 己



ここ数年、各地で文化活動の場として文化ホールの建設が進み、既に利用され

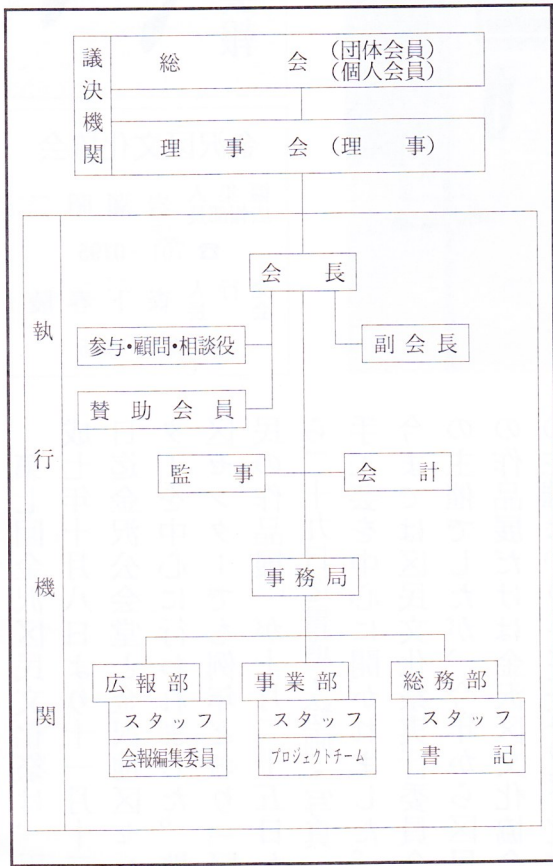
ているホールも数多くあるというのを聞き、大変うらやましく思っています。金沢区にも、良い音楽ホールを造ろうではありませんか！そこで文化協会では昨年の十月の定例理事会にて区民文化ホール建設促進委員会を発足し、早速、区内の音楽団体を中心に『文化ホールに関するアンケート調査』を実施したところ、たくさんの解答を頂きました。ご協力頂きました方々には、この紙面を借りて御礼申し上げます。

調査内容は、主に各団体の活動・発表場所についてですが、特に『金沢公会堂』に関して数点お伺いした結果、『多目的に

造られたので講義や講演をするには良いが、音楽等には音の響きが悪い』『楽屋の数や設置場所の問題がある』『練習室・リハーサル室が必要』など率直な意見を頂くことが出来ました。また、現在、区内には公会堂を利用したいという団体だけで一五あり、それに個人その他の講演、各学校の利用を合わせると相当な数になります。利用の実情は、行政が区主催行事

で公会堂を先に確保してしまい、残された日を一般の団体や個人で抽選している状態です。ですから、公会堂の競争率は高く、希望の日時に公会堂を利用できないのは、まさに幸運そのものなのです。実際にアンケート結果では、公会堂の抽選に一回で当たった団体はごく僅かしかありませんでした。貴重な意見を多数頂き、アンケートによって行政に対する陳情内容は十分得られたと確信しています。以上のような事項に着目し、今後の行政との話し合いに望んでいきたい所存でございます。(区民ホール建設促進委員長)

金沢区文化協会組織図



賛助会員芳名簿

(アイウエオ順)

あさひ銀行

金沢文庫支店

金沢臨海サービス

関東学院大学

坂口ひろ子

湘南信用金庫

金沢支店

書道春秋社

住友銀行

金沢文庫支店

(有)高松写真商会

東急車輛製造

横浜銀行金沢支店

「わたしたちの金沢」写真展

写真部・区民ホールで

文化協会が三月に発足し、五月に文化講演会が開かれました。何か次の催しをと検討し写真部として金沢区内の風景・行事・生活をテーマとした「わたしたちの金沢」写真展を企画しました。経費も少く、地域に密着した催しとして適当と思ひ、会員に出品を呼びかけました。会長を煩し横浜金沢観光協会の御後援を頂き、区役所二階区民ホールを会場として九月四日より八日まで開かれました。

九月四日午前中出品者全員で設営し、会員二十九名による出品五十一点が展示されました。区役所二階という地の利も幸いし会期中ご来場いただき



いた方は一、三〇〇名に達し概ねご好評をいただきました。対象が金沢区内の風景や行事など身近なものであったこと、スポット照明など設備のおかげで作品が映え、無事終了することが出来ました。ご協力いただいた会員の方々に感謝いたします。ところで設営日に読売新聞の記者が取材にいられたので、写真展の趣旨や金沢区文化協会のことなどお話ししました。新聞に

載ればいいPRになると思いましたが、取材の翌日がオウムによる坂本弁護士一家の遺体捜索という大事件に重なり、横浜版も連日この記事で埋めつくされてしまい、写真展の記事は残念ながらボツでした。

理事会だより

- 8・29 文化協会会報第一号九月発行確定。県文化団体連盟加入並同理事に助川副会長を推薦。区民文化祭「区民の作品展」が協会主催になった件報告。
- 9・21 「わたしたちの金沢」写真展結果報告。文化協会会報第一号発行報告。文化協会設立一周年記念郷土芸能まつりを3月16日金沢公会堂で行うことを正式決定。文化ホール建設促進の為委員会を作り案を区に提出したい。委員長は長谷川理事。
- 10・19 年次総会は8年5月に地区センター大会議室にて開催。「金沢区伝統芸能まつり」推進の業務分担決定、出資団体と打合せ。「区民の作品展」諸手配及び進行状況確認。
- 11・24 「区民の作品展」の報告と反省点の検討、文化協会主催になったので会場に責任者として担当理事を当番で常駐させるなど、来年度の作品展日程を決定10月22日〜27日。「金沢区伝統芸能まつり」準備進行状況報告。
- 12・22 「金沢区伝統芸能まつり」役割分担。小田原での県文化団体連盟総会に出席する四理事決定。
- 8・1・18 「金沢区伝統芸能まつり」プログラム原稿完成、印刷部数五千部。全会員に郵送すること。七年度総会は5月12日地区センター大会議室にて開催予定。

会員アラカルト

- 夏山カメラサークル 金利谷西小学校創立二十周年記念文化祭に金沢をテーマにして参加した(7・10・22〜11・2)
- 金沢まつり花火大会写真コンクールがあり、八五点の応募のうち三人が入選。そのうち二人が当協会会員でした。加藤千之輔さん(個人会員)・高松和子さん(賛助会員)
- 金沢三曲会 小・中学校邦楽観賞公演(無償)を行いました。
- 8・1・11 於金利谷東小学校
- 8・2・5 於小田小学校
- 事務局長奥田廣實さんが油彩・水彩展を開催。自著「私の鎌倉古寺散歩」原画の個展でした。8・1・26〜2・1 横浜画廊別館
- 金沢吹奏楽団 3・16(夜)公開練習 金沢公会堂(来聴歓迎)
- 金沢書道協会 2・17〜18 金沢区役所他で金沢区児童・生徒書初大会 3・16〜19第9回書道協会展 地区センター会議室
- 樞の実コーラス 4月6日東京芸術劇場 田中登志生指揮者二五周年記念演奏会に出演予定
- 舞寿美会 4月28日 於金沢公会堂 日本舞踊発表会
- 富岡コール有志を中心に7月2日カナダのパウエルリバーで開く国際合唱フェスティバルに参加。カナダの合唱団と交歓会を計画している。

会員プロフィール ②

金沢郷土史研究会

金沢の郷土史掘り起こしをテーマとして毎月2回、区内或いは関連地域の歴史散策を行なっています。

なっています。

金沢を愛する人なら誰でも仲間入りが出来ます。申込みは不

音楽のつどい 連絡協議会

区内で活動している音楽団体が連携して、活動成果を区民文化祭で発表しています。発足時には十

一団体でしたが、今では三十余団体になりました。

女声合唱・男声合唱だけでなく、少年少女の清らかな歌声やお琴の合奏、吹奏楽団など実に多彩です。

昨年は十五周年を記念して、各団体のプログラムが終了後、吉村幹郎先生の指揮で混声合唱

要です。歩きたいコースの時に弁当と飲料と参加費千円を持って集合場所へ来て下さい。

会の広報紙「金沢新報・鎌倉新報」は無料で配布しています。問合先・七〇一―二三〇一 田野

『月光とピエロ』を演奏。(各団体から百人が集まりました)

次に平井保先生の指揮で『ふるさとの四季』を全員合唱。最後に金沢吹奏楽団の演奏で『金沢の四季』を全員合唱して終了しました。

私達は歌うことも大好きですが、仲間と過ごす素敵な時間や人との出会いは何にも増して大切なものです。

歌の輪を広げて十五年。これからもどうぞ宜しくお願いします。(平等静枝)

金沢区書道協会

「金沢区書道協会」は昭和六十二年五月に、金沢区在住・在勤の書道愛好者により設立された親睦団体です。通常年一回、今年には金沢地区センター会議室で三月第九回展を催し、金沢区児童、生徒書初大会は、金沢区役所、金沢郵便局、八景荘にて第六回展を二月十七日(土)〜十八日(日)に開催。書を通じて健全な心身の育成と豊かな心情を養い、地域文化の普及振興を図り、今後も引続き開催し、

金沢区文化祭には企画・出品など全面的な協力をして地域の愛好者と共に素晴らしい古来の日本語の形成に知恵を絞り合って、金沢区文化協会を母体として楽しく文字の研究・書道ができ発表する場に気軽にご参加をお勧めいたします。(星翠雲)

編集後記

会報第二号をお届けします。「しおさい」という、金沢区にふさわしい素適な名前も決まり、編集委員一同二年目に向け、張り切っております。

編集委員

岩瀬昭二・田野 諒・森川淳子
佐野史瑞子・吉澤政晴

津軽三味線

晴栄会



会が出来十三年目になります。週一回吉川晴栄宅で練習をしています。会員は十一名。主婦・店主・福祉関係者・定年を迎えた方々です。三味線・ばちを持つ手が定まらずとまどいの時か

ら唄にも太鼓にもと意欲がわく迄に人前で弾くことが出来る様になりました。一人で弾くこと、合奏すること、どちらも難しくまだまだですが、毎年十一月の発表会を目標に勉強を続けています。老人ホームの慰安訪問、地域精神医療を考える市民の会(葦の会)カップリングコンサー

ト等は、三味線を弾くことでほんの少しでも役に立てたことを思い同時に私達の励みと喜びになりました。手首の運動、頭の回転を良くする為と言いながら旅行・茶話会を楽しむ三味線が大好きな人達です。これからも機会あるごとに出かけ、人の輪と和を広げて行きたいです。